

東京都立 多摩総合医療センター

西東京市医師会の取り組み

西東京市医師会
会長 指田 純



皆さん、昨年5月から西東京市医師会長になりました指田と申します。ヨロシクお願いいたします。私たちの医師会は、2001年1月21日に旧田無市と旧保谷市の合併により西東京市が誕生し、既存の両市の医師会が協議の上、2003年4月に設立されました。まだ発足して15年足らずの医師会ですが、基礎にあるそれぞれの医師会の礎を元に、2017年4月に20万人を超えた西東京市民と、周辺地域の皆様の健康を守るべく日々努力しております。

当医師会は6病院、120診療所の医師、合計278名からなる組織で、常に医学の向上と住民の方々の健やかな生活を持続するための公益事業を行う事を目的とする団体であります。これまでもこれからもこの事をモットーに活動を行って参ります。

医師会発足後、公益事業として後方支援病院推進事業、胃癌ハイリスク検診、おたふくかぜと水痘ワクチン接種助成等行い、現在、形にした事業は西東京市に引き継ぎ、現在も行われております。

さて、現在20万人を超えた西東京市民の内、65才の市民の占める割合である高齢化率は24.2%、この内約半数の2.2万人が75才以上という人口構成で、団塊の世代が75才になる2025年には32%増加し2.9万人となり、当然介護を必要とする市民も増加してきます。また東京都において認知症高齢者は2013年で27万人、2025年には44万人になると見込まれており、認知症高齢者が増加するとさらに介護を必要とする市民が増加、認知症を予防する事が介護・福祉資源を有効に使うために重要な事になります。

この様な背景から、「認知症予防の為の聴覚検診」を新たな事業として、2017年度から開始し3年間追跡調査を行う予定です。難聴は以前から認知症の危険因子と言われておりましたが、その体系付けられた調査・検診は世界レベルでもあまり報告が無く、行政単位での試みは初めてで、まだ1年間のデータですが有用なものになる事が期待出来そうです。

また、地域に根ざした包括ケアシステムを構築し、独居の人を含めた誰でもが人生の最後まで生活できる仕組みを作る事を目的に、2014年「西東京市医師会在宅療養推進協議会」を立ち上げ、行政にも参加して頂き協議を開始、現在は西東京市に運営主体を移管し「地域包括ケアシステム推進協議会」に改名し、「オール西東京」の一員として日々努力しております。包括ケアシステムの植木鉢モデルで介護予防・生活支援の土の上に生える三つ葉の一つである医療・看護は無くしてはならないもの、病診連携、病々連携はその葉の茎にあたる重要な部分であり我々医師会と多摩総合医療センターとの連携もこのシステムに無くしてはならないものと考えています。今後ともよろしく申し上げます。



消化器内科のご紹介

消化器内科医長 並木 伸



平成26年4月1日付で芝祐信前部長の後任として消化器内科の責任医長を拝命いたしました。常日頃より、近隣医師会、医療機関の先生方には多大なるご支援をいただいております。この場をお借りしまして厚く御礼を申し上げます。

当科は、がん医療と救急医療という2本の柱に重点をおいて診療を行っております。消化器内科単独で当直体制を敷いており、重症症例は救命センターと連携をはかりながら、消化管出血、急性胆管炎など緊急で治療介入が必要な病態にも24時間体制で対応しています。

消化器内科は、入院診療においては外科のような臓器別診療体制をとっておりませんが、外来診療におきましては「早期癌内視鏡治療」「消化器がん(主にがん化学療法を必要とする症例)」、「肝炎・肝細胞がん」、「胆膵癌・腫瘍」「炎症性腸疾患」といった各専門外来を開設し、特に『がん』もしくは『がん疑い』という診断がついている患者様を、できるだけお待たせせずに初診時からスムーズに専門医が診療できるように配慮しております。

近隣の先生方におかれましては、がん(疑い)症例を紹介くださる際に、外科宛か消化器内科宛かで悩まれるケースがあるかと存じますが、現在、手術非手術に関わらず、まず消化器内科で精査を行っておりますので、上記の消化器内科専門外来にご紹介ください。

当科が得意としております専門分野ごとのご紹介を致します。

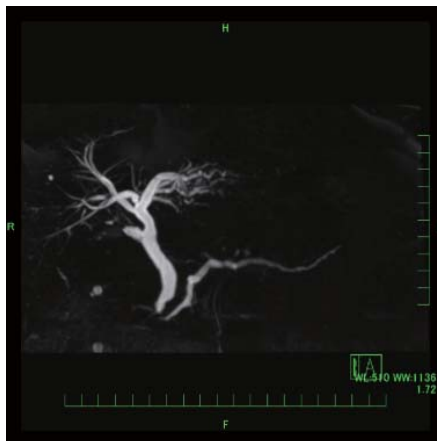
- 1. 消化器内視鏡治療**：従来より上下部消化管癌のESDを積極的に行っております。ESDは昨年度全体で176件で、とくに近年大腸癌に対するESDの件数が増加傾向で昨年度は70件でした。
- 2. 消化器がん化学療法**：2名のがん薬物療法専門医が中心となり、標準治療はもちろんのこと臨床研究や治験を積極的に行っております。外来通院治療をベースとして、仕事や生活とのバランスをとりながら患者様のニーズにそった形での治療を心がけています。食道癌に対する放射線化学療法の経験も豊富です。
- 3. 胆膵領域の超音波内視鏡(EUS)**：積極的に超音波内視鏡を用いて病期診断、組織学的診断を行っています。EUSは年間300件超、FNA(穿刺吸引細胞診)は100件超です。
- 4. ERCPによる診断および処置**：ERCPの件数は600件超と多摩地区随一、全国でも有数の件数です。経口胆道鏡(SpyGlass DS[®])、管腔内超音波(IDUS)を用いた癌の水平・垂直方向の浸潤精査や、胆管挿管困難・術後再建腸管・大結石などの理由で他院で治療困難だった症例に対しても積極的に結石除去術(ダブルバルーン内視鏡、EHL(衝撃波破碎装置)を使用)などを行っています。
- 5. ラジオ波焼灼術**：肝細胞癌だけでなく転移性肝癌も含めて年間40例ほど行っています。
- 6. ウイルス性慢性肝炎に対する経口剤治療**：肝臓専門医4名が中心となり、B型慢性肝炎への核酸アナログ、C型慢性肝炎へのインターフェロンフリー治療を積極的に行っています。
- 7. 炎症性腸疾患**：中等症・重症に対する免疫抑制剤(カルシニューリン阻害薬)、生物学的製剤、血球成分除去療法などの内科的標準治療はすべて対応可能です。内科的治療抵抗性を示し、外科手術が必要となる症例については他大学病院と連携し診療にあたっています。

特に3、4につきましては、数年前と比べて皆様にご提供できる内容が飛躍的に発展してきております。当科では常に最新の診断技術、治療法を取り入れ、さらなる研鑽に努め、多摩地区の患者様のご要望に応えられるよう引き続き邁進していく所存でございます。先生方におかれましては、引き続きご指導ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

—EHLを用いた総胆管結石除去の実際—



ERCPでの胆管造影像：
総胆管内に巨大な積み上げ結石による造影欠損像を認める。



治療後に外来で施行したMRCP画像：
総胆管結石による欠損像は完全に消失している。





人工膝関節全置換術(TKA)における 簡易ナビゲーションのご紹介



整形外科 田原 圭太郎

—はじめに—TKAの設置角度は長期成績に関係するため正確な骨切りが必要とされるが、大腿骨や下腿骨に変形がある場合は正しい設置のための骨切りが難しくなる。近年、大型ナビゲーション(CAS)のような大型機器の導入の必要がないポータブルサイズの簡易ナビゲーションシステムであるKneeAlign2[®](ZimmerBiomet社)が使用可能となっている。これは手のひらサイズのポータブルナビゲーションであり大腿骨・脛骨に設置することにより0.5°間隔で骨切りの角度を設定することができる(図1)。今回、下腿骨の変形がある症例のTKAを行う際にナビゲーションが有用であったため紹介させて頂く。

【症例】 80歳代、女性

主訴 右膝痛

現病歴 2012年より右膝痛悪化。右変形性膝関節症の診断で、痛みが内側に限定し外側関節裂隙および大腿膝蓋関節に関節症性変化が少なく前十字靭帯も保たれていたため、2013年に人工膝関節単顆置換術(UKA)を行った(図2)。術後、内側の痛みは軽減し経過は良好であった。2016年より徐々に右膝痛悪化し、歩行や階段昇降が困難になった。

理学所見 歩行：杖歩行、右膝関節伸展-20° 屈曲110°、脛骨内側に圧痛あり

画像所見 右膝単純X線像：脛骨トレイのキール周囲に骨透亮像(radiolucent line)あり(図3)

下肢全長単純X線像：右脛骨中央からやや遠位に変形あり(図4)

➡UKA後の脛骨トレイの緩みに対してTKAを行う方針とした

下腿の変形を伴っていたため、ナビゲーションの併用が有用と考えた

手術 脛骨トレイは緩みがあり容易に抜去可能であった。簡易ナビゲーションシステムであるKneeAlign2[®]を用いてTKAを行った。術後単純X線像では大腿骨頭中心から足関節中心を結んだ機能軸(Mikulicz line)が膝関節中心を通っており正確な骨切りが出来ていることが分かる(図5)。

術後経過 右膝痛は消失し経過良好である。

—考察— ナビゲーションを用いない従来法によるTKAでは正確な骨切りが約70%程度にとどまるのに対し、KneeAlign2[®]を用いた場合約90%以上の症例で正確な骨切りが可能である¹⁾²⁾。さらに、大腿骨や下腿骨に変形がある場合、従来法では正しい設置のための骨切りはより一層難しくなる。本症例では下腿骨に変形があり脛骨トレイの設置に注意を要したが、簡易ナビゲーションシステムであるKneeAlign2[®]を用いることにより容易に正確な骨切りを行うことが可能であった。

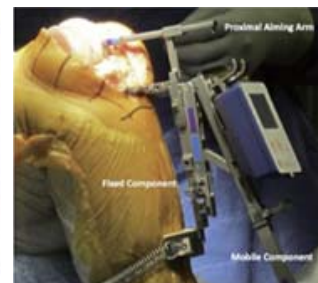


図1 KneeAlign2[®](参考文献1より引用)



図2 UKA術後



図3 脛骨トレイのキール周囲に骨透亮像(radiolucent line)あり



図4 右脛骨中央からやや遠位に変形あり



図5 TKA術後、大腿骨頭中心から足関節中心を結んだ機能軸(Mikulicz line)が膝関節中心を通る

参考文献 1) Denis Nam, Elizabeth A. Cody, Joseph T. Nguyen Mark P. Figgie, David J. Mayman. Extramedullary Guides Versus Portable, Accelerometer-Based Navigation for Tibial Alignment in Total Knee Arthroplasty: A Randomized, Controlled Trial. The Journal of Arthroplasty 29 (2014) 288-294
2) T. Ikawa, S. Takemura, M. Kim, K. Takaoka, Y. Minoda, Y. Kadoya. Usefulness of an accelerometer-based portable navigation system in total knee arthroplasty. Bone Joint J 2017;99-B:1047-52.



皮膚科からのお知らせ

皮膚科外来診療を10月から再開いたしますのでよろしくお願いいたします。

予約受付：9月18日から開始

都立多摩総合医療センター 人事異動

【昇任】平成30年7月1日付

泌尿器科部長 東 剛司

【採用】平成30年7月1日付

外科医長 石橋 雄次

平成30年8月1日付

泌尿器科 萩原 奏

【転出】平成30年6月30日付

精神神経科 日野 慶子

平成30年7月31日付

泌尿器科 杉原 亨

公開CPCのご案内

顔の見える医療連携の更なる推進を図るため、これまで院内で行なっていたCPC（臨床病理検討会）に地域医療機関の先生方にもご参加いただきたく、ご案内させていただきます。是非ご参加くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

毎月第3木曜日 午後6時～午後7時 4階401会議室

（都合により開催日を変更する場合があります。）

各種講習会・勉強会のご案内（医療従事者向け）



医療連携臨床懇話会

平成30年10月11日（木）午後6時30分～午後7時30分

都立多摩総合医療センター 4階401会議室

- 「外来における抗菌薬適正使用について」 感染症科医長 本田先生

各種講習会・勉強会のご案内（患者さん向け）



糖尿病講習会

会場：都立多摩総合医療センター講堂フォレスト

※参加無料、
事前予約不要です

- 「糖尿病の内服薬」「糖尿病の運動療法」「嗜好品等について」
日時：平成30年9月19日（水） 午後2時～午後4時
- 「メタボリック・シンドローム」「血液検査について」「動脈硬化と食事」
日時：平成30年10月10日（水） 午後2時～午後4時
- 「糖尿病と高血圧」「糖尿病の入院について」「減塩方法の実際」
日時：平成30年11月21日（水） 午後2時～午後4時



腎臓病講習会

会場：都立多摩総合医療センター講堂フォレスト

- 「慢性腎不全の病態と治療」「慢性腎不全の日常生活」「慢性腎不全の食事療法」
日時：平成30年11月27日（火） 午後2時～午後4時

※詳細はホームページをご覧ください。

当院は原則として、**紹介予約制**です。外来及びCT、MRI検査は必ず予約を取り、紹介状をお願い致します。

ご意見、ご投稿、お問い合わせは医療連携担当（内線2171）まで

<電話予約センター>

月～土 受付時間 午前9:00～午後5:00

TEL：042-323-9200

<FAXによる診療予約>

月～土 受付時間 午前9:00～午後5:00

FAX：042-323-9205

緊急の場合…必ず事前にご連絡ください

代表電話：042-323-5111から、①平日の午前9時～午後5時は「〇〇科責任医師」、②午後5時以降、土曜日、日曜日及び祝祭日は「〇〇科の救急担当医」とお申し付けください。

連携医ホットライン：042-312-9119 月～土 9:00～20:00（祝日年末年始は除く）

連携医の先生方専用の当院医師への直通電話です。当日の緊急診療依頼にぜひご利用ください。

※一部の診療科では、夜間・休日は専門医がおりませんので診療できない場合があります。

※受診が決まった場合は、患者さんに紹介状（診療情報提供書）をお渡しください。

東京都立多摩総合医療センター

〒183-8524 東京都府中市武蔵台2-8-29
TEL 042-323-5111（代表）

